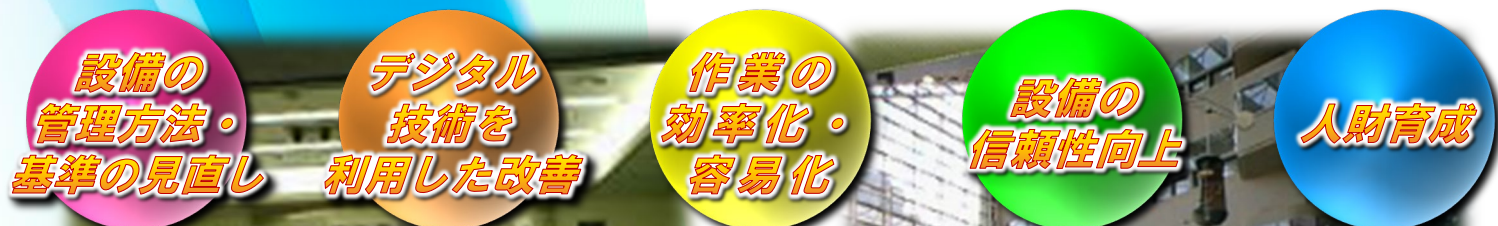


生産・保全現場の困りごと・課題に挑んだ改善事例が集結！

改善事例発表大会2025

中国・四国地域

2025年 6月 17日（火）開催 広島県情報プラザ



現場最前線の改善事例から あなたの現場の改善ヒントに！
現場発DX/デジタル化 や センシング技術 など
これからの時代を担うモノづくり現場力を育むチャンス！！

発表会場：広島県情報プラザ 多目的ホール

発表企業

※ 企業名50音順、法人格略

旭 化 成

オリエンタルモーター

キーレックス

倉敷化工

サントリープロダクツ

JFEスチール

住友化学

東 レ

マ ツ ダ

ヨシワ工業

リョービミラサカ

発表数：11社13事例！ 発表事例数、年々増加中！！



今年度も、好評の“発表者との交流会”を開催！

質疑応答では聞けない詳しい情報交換（苦労話や失敗談も）ができます！

地域の企業間交流の活性化にも繋がりますので、ぜひご活用ください

イベントの詳細・お申込みは、

改善事例発表大会 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員への設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

中国・四国		2025年6月17日（火）		広島県情報プラザ（広島県広島市）		※ 敬称略
時間		発表情報				
09:30▶		開場・受付開始				
10:00▶10:10		開会のあいさつ				
事例 1	10:10 ▼ 10:30	運転・製造	刃具交換 段替えロスの短縮 ～小さなことからコツコツと～		<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 安全	
		ヨシワ工業株式会社 機械部 海田機械課 機械技術係		小迫 隼人 重見 航		
事例 2	10:30 ▼ 10:50	工務・保全	設備信頼性向上と保全の成長 ～同期シャフト折損メカニズム解明への挑戦～		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 人財育成	
		マツダ株式会社 本社工場 車体製造部 車体工務技術Gr 工務係 班長		児玉 仁		
事例 3	10:50 ▼ 11:10	運転・製造	塗装コンベアの省人化による生産性向上		<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● コストダウン	
		株式会社キーレックス 海田工場 第2製造Gr タンク組立職場 リーダー		船浪 公二郎		
11:10▶11:20		休憩				
事例 4	11:20 ▼ 11:40	運転・製造	包装工程安定化		<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 設備の信頼性向上	
		旭化成株式会社 製造統括本部 水島製造所 セオラス水島製造部 製造課		福元 祐介		
事例 5	11:40 ▼ 12:00	工務・保全	なくせ手書き・手計算！！ ～アナログ職場のDX化への第一歩～		<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● デジタル技術を利用した改善 ● 人財育成	
		リョービミラサカ株式会社 製造部 金型課 整備機械二係主任		池本 由美		
事例 6	12:00 ▼ 12:20	運転・製造	バスケット厚不良ゼロへの挑戦		<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 自主保全 ● 設備の管理方法・基準の見直し	
		マツダ株式会社 本社工場 第3パワートレイン製造部 第1素材課 ダイキャスト係 職長補佐		大川 恵司		
12:20▶13:05		昼休憩（お弁当をご用意しております）／ 全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介（動画投影）				
事例 7	13:05 ▼ 13:25	工務・保全	4CGL ダイナソーウォーズ		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 安全	
		JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 福山地区 設備部冷延設備室		上和田 怜緒		
事例 8	13:25 ▼ 13:45	運転・製造	感動工場実現のための結果系保証から要因系保証への挑戦		<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 作業の効率化・容易化 ● デジタル技術を利用した改善	
		倉敷化工株式会社 技術研究所 材料研究部 材料機能研究課 係長		下采 真也		
事例 9	13:45 ▼ 14:05	運転・製造	組立工程バラつきロス低減		<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 自主保全 ● 改善活動の水平展開	
		オリエンタルモーター株式会社 高松カンパニー 第2製造部 製造1課 組立グループ		川田 和樹		
14:05▶14:15		休憩				
事例 10	14:15 ▼ 14:35	工務・保全	ボイラー台数適正化によるGHG削減		<発表キーワード> ● コストダウン ● 環境・省エネルギー	
		サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場 工務部門メンバー		坂上 慶次		
事例 11	14:35 ▼ 14:55	運転・製造	共通配管管理の働き方改革 ～サステナブルな工場の実現に向けて～		<発表キーワード> ● 作業の効率化 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● デジタル技術を利用した改善	
		住友化学株式会社 愛媛工場 新居浜第一製造部第一製造課		内山 凌汰		
14:55▶15:05		休憩				
事例 12	15:05 ▼ 15:25	工務・保全	繊維生産設備の設備故障削減の取組み		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 改善活動の水平展開 ● 人財育成	
		東レ株式会社 愛媛工場 工務保全課		豊田 翔平		
事例 13	15:25 ▼ 15:45	工務・保全	PCIパイプベルト取替工事休風完全同期化 出銑コスト削減への挑戦 なければつくれ！フラットベルト		<発表キーワード> ● コストダウン ● 作業の効率化・容易化 ● 安全	
		JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 倉敷地区 設備部製銑設備室		持田 淳乃介		
15:45▶15:55		休憩・移動				
15:55▶16:45		発表者との交流会				
16:45▶17:00		表彰式				

中国・四国		2025年6月17日（火）		広島県情報プラザ（広島県広島市）		※ 敬称略	
事例1	刃具交換 段替えロス短縮 ～小さなことからコツコツと～			事例8	感動工場実現のための結果系保証から 要因系保証への挑戦		
	ヨシワ工業株式会社 海田工場 機械部 海田機械課 機械技術係 小迫 隼人 重見 航				倉敷化工株式会社 本社 技術研究所 材料研究部 材料機能研究課 係長 下采 真也		
事例2	設備信頼性向上と保全の成長 ～同期シャフト折損メカニズム解明への挑戦～			事例9	組立工程バラつきロス低減		
	マツダ株式会社 本社工場 車体製造部 車体工務技術Gr 工務係 班長 児玉 仁				オリエンタルモーター株式会社 高松カンパニー 香西事業所 第2製造部 製造1課 組立グループ 川田 和樹		
事例3	塗装コンベアの省人化による生産性向上			事例10	ボイラー台数適正化によるGHG削減		
	株式会社キーレックス 海田工場 第2製造 Gr タンク組立職場 リーダー 船浪 公二郎				サントリープロダクツ株式会社 天然水奥大山ブナの森工場 工務部門 メンバー 坂上 慶次		
事例4	包装工程安定化			事例11	共通配管管理の働き方改革 ～サステイナブルな工場の実現に向けて～		
	旭化成株式会社 製造統括本部 水島製造所 セオラス製造部製造課 新工場立ち上げ時に、製品が包装されている段ボールの外観不良品が約1000ケース発生した。この問題を受け、包装担当者間で団結し、現状の問題点を洗い出し解決に向けて取り組んだ活動を発表する。 福元 祐介				住友化学株式会社 新居浜第一製造部 第一製造課 内山 凌汰		
事例5	なくせ手書き・手計算！！ ～アナログ職場のDX化への第一歩～			事例12	繊維生産設備の設備故障削減の取り組み		
	リョービミラサカ株式会社 製造部 金型課 整備機械二係 主任 池本 由美				東レ株式会社 愛媛工場 工務保全課 豊田 翔平		
事例6	ビスケット厚不良ゼロへの挑戦			事例13	PCIパイプベルト取替工事休風完全同期化 出銑コスト削減への挑戦 なければつくれ！フラットベルト		
	マツダ株式会社 本社工場 第3パートレイン製造部 第1素材課 ダイキャスト係 職長補佐 自職場ではハイプレッシャーダイカスト法でアルミ製シリンダーブロックを鋳造している。自主保全サークル活動の中で、工程内で発生するビスケット厚不良のゼロ化を目標に対策に取り組んだ事例を発表する。 大川 恵司				JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 倉敷地区 設備部製鉄設備室 持田 淳乃介		
事例7	4CGL ダイナソーウォーズ						
	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 福山地区 設備部冷延設備室 スクラップ片をコンベアで搬送する際に落下するトラブルが発生。その原因を調査し、対策としてコンベア形状を工夫することで、トラブルを解消。能率低下の解消・安全性の向上・作業負荷の低減を実現させた事例を発表する。 上和田 怜緒				※ プログラム・発表情報は変更となる場合がございます。 最新版は、改善事例発表大会公式サイトをご参照ください		

改善事例発表大会2025は、全国7地域で開催！！

地 域	開催日	会 場
東北・北海道	6月20日(金)	多賀城市文化センター
関 東	6月25日(水)	曳舟文化センター
北 陸	6月11日(水)	富山国際会議場
中 部	6月27日(金)	ポートメッセなごや
関 西	6月13日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月17日(火)	広島県情報プラザ
西 日 本	6月19日(木)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイト をご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>
の“参加お申込み”から



参加料（左：10%税込み価格、右：本体価格）

会員価格※1	¥19,250- /名 (¥17,500- /名)
一般価格	¥25,850- /名 (¥23,500- /名)
TPM経営者 懇話会会員価格※2	ご 招 待

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
・一般社団法人 日本能率協会
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

会員以外の方は、
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定
開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額
※2025年6月10日(火)よりキャンセル不可
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします
<<https://info-jipm.jp/contact/>>
お問い合わせ> イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp